

### 3 過去の人権学習が現在の人権意識に与える影響—<視点1>

さまざまな場における人権問題についての学習を、「人権学習」と捉え、これまでの人権学習の経験の有無によって、人権意識に差がみられるかどうかを検討します。

#### (1) 人権学習の効果

以下では、人権学習の効果を、これまでに、人権学習を受けた人と受けていない人において、人権意識の平均値の間に統計的に有意な差があるかどうかによって検討します。

人権意識が高いほど平均値が高くなります。以下では、「あてはまる」人のほうが「あてはまらない」人よりも、統計的に有意に平均値が高い場合は、学習効果があったと判断し、太字にしています。

表 3-1-1 小学校で受けた

小学校で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	2.8	3.4	12.4	3.0
	度数	395	403	391	391	397	398	397
	標準偏差	0.7	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.1
あてはまる	平均値	<b>3.1</b>	2.4	3.8	<b>3.0</b>	3.3	12.2	3.0
	度数	236	238	230	231	230	234	232
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
有意差検定		-	-	*	**	-	-	-

小学校での人権学習の経験では、「被差別責任否定意識」に効果がみられます。

表3-1-2 中学校で受けた

中学校で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.0	2.4	3.9	2.9	3.3	12.4	3.0
	度数	448	456	440	440	446	449	446
	標準偏差	0.7	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
あてはまる	平均値	3.1	2.5	3.8	<b>3.0</b>	3.4	12.3	3.0
	度数	183	185	181	182	181	183	183
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
有意差検定		-	-	-	*	-	-	-

中学校の人権学習の経験では、「被差別責任否定意識」と関連し、効果がみられます。

表3-1-3 高校で受けた

高校で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	2.9	3.3	12.4	3.1
	度数	536	546	530	532	537	537	534
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.1
あてはまる	平均値	<b>3.2</b>	2.5	3.8	3.0	3.4	12.0	2.8
	度数	95	95	91	90	90	95	95
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.8	1.1
有意差検定		-	-	-	-	-	*	*

高校での人権学習の経験では、受けた人と受けていない人との間で、「結婚排除否定意識」、「反忌避意識」において有意差がみられるのですが、受けていない人のほうが、人権意識が高いことから、効果があったとはいえません。

表3-1-4 大学で受けた

大学で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	2.9	3.3	12.4	3.0
	度数	593	603	584	585	590	595	592
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
あてはまる	平均値	<b>3.3</b>	<b>2.8</b>	<b>4.2</b>	<b>3.4</b>	3.5	12.0	2.9
	度数	38	38	37	37	37	37	37
	標準偏差	0.6	0.9	0.7	1.1	0.9	1.6	1.2
有意差検定		*	**	*	**	-	-	-

大学で人権学習を受けた人の割合が非常に少ないのですが、受けた人たちについては、「排除問題意識」、「体罰問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」において関連が見られ、効果があったといえます。

表3-1-5 市民対象の講座で受けた

市民対象の講座で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	2.9	3.4	12.3	3.0
	度数	601	611	593	595	599	602	599
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.1
あてはまる	平均値	3.2	2.5	<b>4.4</b>	3.1	3.3	12.4	3.3
	度数	30	30	28	27	28	30	30
	標準偏差	0.7	0.9	0.6	0.9	0.9	1.9	1.3
有意差検定		-	-	**	-	-	-	-

市民対象の講座などでの人権学習の経験では、「人権推進支持意識」に効果があったと解釈できます。

表3-1-6 職場の研修で受けた

職場の研修で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.0	2.4	3.9	2.9	3.3	12.3	3.0
	度数	539	547	529	531	534	541	539
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
あてはまる	平均値	<b>3.2</b>	<b>2.6</b>	4.0	<b>3.2</b>	<b>3.6</b>	12.7	3.1
	度数	92	94	92	91	93	91	90
	標準偏差	0.6	0.8	0.7	1.0	0.8	1.3	1.3
有意差検定		**	*	-	**	**	*	-

職場の研修での人権学習の経験では、「排除問題意識」、「体罰問題意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「結婚排除否定意識」に効果があったと解釈できます。

表3-1-7 PTAや民間団体の研修で受けた

PTAや民間団体の研修で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	2.9	3.3	12.4	3.0
	度数	589	598	582	583	588	591	588
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
あてはまる	平均値	3.2	<b>2.7</b>	4.0	3.0	<b>3.6</b>	12.3	<b>3.4</b>
	度数	42	43	39	39	39	41	41
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.7	1.6	3.1
有意差検定		-	*	-	-	*	-	*

PTAや民間団体が主催する研修での人権学習の経験では、「体罰問題意識」、「差別容認

否定意識」、「反忌避意識」に効果があったと解釈できます。

表3-1-8 はっきりと覚えていない

はっきりと覚えていない		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	2.9	3.4	12.4	3.1
	度数	497	505	491	491	495	502	497
	標準偏差	0.7	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
あてはまる	平均値	3.1	2.5	3.8	2.8	3.3	12.3	2.9
	度数	134	136	130	131	132	130	132
	標準偏差	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9	1.7	1.1
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

何らかの人権問題学習を受けた記憶のある人とない人との間で、いずれの人権意識についても有意差はみられません。

表3-1-9 受けたことがない

受けたことがない		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.3	12.3	3.0
	度数	514	523	502	503	505	511	511
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
あてはまる	平均値	3.0	2.3	3.9	2.6	3.4	12.4	3.1
	度数	117	118	119	119	122	121	118
	標準偏差	0.7	1.0	0.8	0.9	0.9	1.6	1.1
有意差検定		*	-	-	***	-	-	-

「受けたことがない」が「あてはまらない」（裏返せば、人権問題についての学習を受けたことがある）人では、「排除問題意識」、「被差別責任否定意識」に効果があったと解釈できます。

以上の分析結果からいえることは、人権学習を経験した人は、経験していない人よりも、入居拒否や身元調査は人権侵害に当たるという「排除問題意識」が高い傾向にあり、人権学習の効果があったということです。また、差別の責任は差別される側にはないという「被差別責任否定意識」も高い傾向にあり、学習効果があったことがわかります。

とりわけ、小学校、中学校等の学校教育における学習は、受けた人の割合が高く、「被差別責任否定意識」を高める効果を上げてきたことが窺えます。大学や市民対象の講座等における学習では、「人権推進支持意識」を高める効果がみて取れます。また、市民対象の講座、PTAや民間団体が主催する研修の経験では、「差別容認否定意識」が高くなるということがわかります。

ただ、一部（職場の研修やPTAや民間団体が主催する研修における学習）を除いては、「結婚排除意識」や忌避意識（土地差別）を弱めたりするような効果はみられません。また、大学、PTAや民間団体が主催する研修における学習を除いて、子どもへの体罰は問題であるという「体罰問題意識」を高める効果が認められません。

### 【知見】

- 何らかの人権問題についての学習を経験した人は、経験していない人よりも「排除問題意識」、「被差別責任否定意識」が高い傾向にあり、人権学習の効果がみられる。

- 様々な人権問題についての学習の中で、「結婚排除否定意識」や「反忌避意識」を高めたりする上で効果がみられる内容は多くない。
- 子どもへの体罰は問題であるという「体罰問題意識」を強める効果が認められる人権問題についての学習は多くない。

## (2) 特に役に立った（一番印象に残っている）学習

次に、人権意識を高める上で特に役に立った（一番印象に残っている）学習経験の有無と人権意識や差別意識との関連をみてみます。

有効回答者716人のうち、何らかの人権問題についての学習を経験した人は393人（54.9%）（「はっきりと覚えていない」と回答した者には問12-1に対する回答を求めていますので、除外しています。）です。以下では、この393人について検討します。

(1)と同様に、太字は統計的に有意に効果があったと解釈できるところです。

表3-2-1 小学校で受けた

小学校で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.5	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	254	257	249	248	250	255	254
	標準偏差	0.7	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
役だった	平均値	3.1	2.3	3.8	3.0	3.2	12.2	2.9
	度数	118	121	114	115	114	117	116
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.2
有意差検定		—	**	—	—	—	—	—

小学校での学習が特に役に立った（一番印象に残っている）という人と特に役に立った（一番印象に残っている）とは思っていない人との間で有意差がみられるのは、「体罰問題意識」です。しかし、特に役に立った（一番印象に残っている）とは思っていない人のほうが、「体罰問題意識」が高くなっています。それゆえ、効果があったとはみなせません。

表3-2-2 中学校で受けた

中学校で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.1	3.3	12.4	3.0
	度数	312	316	304	303	305	310	308
	標準偏差	0.7	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.1
役だった	平均値	3.1	2.4	3.8	2.9	3.4	12.1	3.1
	度数	60	62	59	60	59	62	62
	標準偏差	0.5	0.9	0.7	1.0	0.8	1.9	1.2
有意差検定		—	—	—	—	—	—	—

中学校での学習が特に役に立った（一番印象に残っている）という人では、人権意識の向上について有意な傾向はみられません。

表3-2-3 高校で受けた

高校で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.1	3.4	12.4	3.1
	度数	336	342	330	330	331	336	334
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
役だった	平均値	3.1	2.6	3.7	2.8	3.1	11.7	2.6
	度数	36	36	33	33	33	36	36
	標準偏差	0.6	0.8	0.9	1.0	0.9	2.1	0.9
有意差検定		—	—	—	—	—	*	*

高校での学習が特に役に立った（一番印象に残っている）という人でも、人権意識の向上について有意な傾向はみられません。

表3-2-4 大学で受けた

大学で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.3	12.4	3.1
	度数	350	356	342	342	343	350	348
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.2
役だった	平均値	3.3	<b>2.8</b>	4.2	3.2	3.3	11.9	2.9
	度数	22	22	21	21	21	22	22
	標準偏差	0.6	1.0	0.7	1.2	1.0	1.7	1.3
有意差検定		—	*	—	—	—	—	—

大学で受けた人権学習が役に立った（一番印象に残っている）という人において、「体罰問題意識」が高くなっているという効果が認められます。

表3-2-5 市民対象の講座で受けた

市民対象の講座で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.4	12.3	3.0
	度数	350	356	342	342	343	350	348
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
役だった	平均値	3.1	2.5	<b>4.3</b>	3.0	3.3	12.2	3.2
	度数	22	22	21	21	21	22	22
	標準偏差	0.7	0.9	0.7	0.9	1.0	2.1	1.3
有意差検定		—	—	**	—	—	—	—

市民対象の講座等での学習が特に役に立った（一番印象に残っている）という人では、「人権推進支持意識」の向上について有意差がみられます。

表3-2-6 職場の研修で受けた

職場の研修で受けた		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.8	3.0	3.3	12.3	3.0
	度数	312	316	302	303	303	311	310
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
役だった	平均値	<b>3.3</b>	<b>2.7</b>	<b>4.1</b>	<b>3.4</b>	<b>3.7</b>	<b>12.7</b>	3.3
	度数	60	62	61	60	61	61	60
	標準偏差	0.6	0.8	0.7	1.0	0.7	1.4	1.3
有意差検定		**	**	*	**	***	*	—

職場の研修での学習が特に役に立った（一番印象に残っている）という人では、「排除問題意識」、「体罰問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「結婚排除否定意識」の向上において効果がみられます。

表3-2-7 PTAや民間団体の研修で受けた

PTAや民間団体の 研修で受けた		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.1	3.3	12.3	3.0
	度数	340	346	334	333	335	341	339
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.2
役だった	平均値	3.1	2.5	4.0	2.7	3.5	12.1	3.2
	度数	32	32	29	30	29	31	31
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.7	1.8	1.0
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

PTAや民間団体が主催する研修での学習が特に役に立った（一番印象に残っている）という人では、人権意識の向上について有意な傾向はみられません。

表3-2-8 役に立った（印象に残った）と思うものはない

役だったと 思うものはない		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.1	3.4	12.3	3.1
	度数	351	357	344	346	345	352	349
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.2
あてはまる	平均値	3.0	2.2	3.8	2.6	3.1	12.7	2.8
	度数	21	21	19	17	19	20	21
	標準偏差	0.6	1.0	0.9	0.9	1.1	1.8	1.1
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

役に立った（印象に残った）学習はないという人と、何らかの学習が特に役に立った（一番印象に残っている）という人との比較において、人権意識の向上について有意な傾向はみられません。

大学での人権学習が、「体罰問題意識」の向上に効果が認められること、市民対象の講座等での学習が「人権推進支持意識」の向上に効果が認められること、職場の研修が「排除問題意識」、「体罰問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「結婚排除否定意識」の向上に効果が認められることが確認できました。しかし、小学校、中学校、高校での学習が特に役に立った（一番印象に残っている）と回答した人において、有意な効果が認められませんでした。

「排除問題意識」、「体罰問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「結婚排除否定意識」、「人権推進支持意識」など、これらを向上させるうえで、どのような内容の講座や研修が効果があるといえるのか、学習効果を期待できる講座や研修の具体的な中身について、今後、さらに検討する必要があります。

### （3）特に役に立った（一番印象に残っている）学習の分野

問12-2では、特に役に立った（一番印象に残っている）学習の分野を問うています。「役に立った（印象に残った）と思うものはない」とした人を除く346名について検討します。人権意識や差別意識の効果をみてみます。

表3-3-1 女性の人権問題

1 女性の人権問題		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	306	312	300	302	301	307	304
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.5	1.1
役だった	平均値	3.3	2.6	4.1	3.0	3.4	11.7	2.9
	度数	39	39	36	34	36	38	39
	標準偏差	0.5	0.8	0.8	1.1	0.9	2.3	1.3
有意差検定		-	-	-	-	-	*	-

女性の人権問題については、「結婚排除否定意識」に有意差が見られます。しかし、役に立ったと回答した人のほうが「結婚排除否定意識」は低いのです。そのため、人権学習の効果があったとはみなせません。

表3-3-2 障がい者の人権問題

2 障がい者の人権問題		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.3	12.3	3.1
	度数	277	282	271	271	271	277	276
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
役だった	平均値	3.2	2.6	4.1	3.2	3.4	12.4	3.1
	度数	68	69	65	65	66	68	67
	標準偏差	0.6	0.9	0.7	1.0	0.8	1.7	1.1
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

障がい者の人権問題では、いずれの人権意識についても有意差はみられません。

表3-3-3 高齢者の人権問題

3 高齢者の人権問題		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	323	329	315	316	316	322	321
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.1
役だった	平均値	3.2	2.5	4.3	2.8	3.4	12.4	3.0
	度数	22	22	21	20	21	23	22
	標準偏差	0.7	0.9	0.7	1.0	0.8	1.7	1.3
有意差検定		-	-	*	-	-	-	-

高齢者の人権問題では、「人権推進支持意識」について有意差がみられます。

表3-3-4 子どもの人権問題

4 子どもの人権問題		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	323	329	316	318	318	324	321
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.1
役だった	平均値	3.1	2.7	4.0	3.2	3.2	11.9	3.2
	度数	22	22	20	18	19	21	22
	標準偏差	0.5	0.9	0.8	1.1	0.9	1.8	1.3
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

子どもの人権問題について、いずれの人権意識についても有意差はみられません。

表3-3-5 同和問題

5 同和問題		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.5	4.0	2.9	3.4	12.3	3.0
	度数	115	118	114	113	114	118	117
	標準偏差	0.6	1.0	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
役だった	平均値	3.1	2.4	3.9	3.1	3.3	12.4	3.1
	度数	230	233	222	223	223	227	226
	標準偏差	0.6	0.9	0.7	1.0	0.9	1.6	1.2
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

同和問題学習については、「役に立った」と回答した人びとの割合が非常に高いのですが、いずれの人権意識についても有意差はみられません。

表3-3-6 外国人の人権問題

6 外国人の 人権問題		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	311	317	304	304	305	311	309
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.1
役だった	平均値	3.3	2.4	3.7	3.2	3.4	12.1	3.0
	度数	34	34	32	32	32	34	34
	標準偏差	0.6	0.9	1.0	1.1	0.9	1.9	1.4
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

外国人の人権問題について、「役に立った」と回答した人びとにおいて、いずれの人権意識についても有意差はみられません。

表3-3-7 職業や雇用をめぐる人権問題

7 職業や雇用をめ ぐる人権問題		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	325	329	316	315	316	325	322
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.1
役だった	平均値	3.2	2.6	3.9	2.9	3.4	11.6	3.4
	度数	20	22	20	21	21	20	21
	標準偏差	0.7	1.0	1.0	1.2	0.9	2.4	1.4
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

職業や雇用をめぐる人権問題について、いずれの人権意識についても有意差はみられません。

表3-3-8 ハンセン病回復者やHIV感染者の人権問題

8 ハンセン病回復 者やHIV感染者		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	331	337	323	324	324	331	329
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
あてはまる	平均値	3.2	2.7	4.1	2.7	3.4	12.1	3.1
	度数	14	14	13	12	13	14	14
	標準偏差	0.7	1.0	0.7	1.1	0.8	2.1	1.2
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

ハンセン病回復者やHIV感染者の人権問題では、いずれの人権意識についても有意差はみられません

表3-3-9 覚えていない

10覚えていない		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.2	2.4	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	330	336	320	320	321	329	328
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
あてはまる	平均値	2.7	2.2	3.8	2.6	3.3	11.9	2.7
	度数	15	15	16	16	16	16	15
	標準偏差	0.6	0.9	1.0	0.8	0.9	2.0	1.1
有意差検定		*	-	-	-	-	-	-

覚えていない人よりも、そうでない人において、「排除問題意識」について、有意差がみられます。

以上の分析結果から、高齢者の人権問題についての学習が特に役に立った（一番印象に残っている）と回答した人において、「人権推進支持意識」が高いこと、学習が何らかの役に立ったという人において、「排除問題意識」が高いという効果がみられます。

#### （４）学習形式の効果

問12-2では、特に役に立った（一番印象に残っている）人権問題についての学習の形式についても問うています。

表3-4-1 教師や学識者による授業、講義・講演

1 教師、学識者 授業・講義・講演		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.2	2.5	4.0	3.1	3.5	12.5	3.1
	度数	162	164	157	159	157	166	165
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.5	1.1
役だった	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.3	12.2	3.0
	度数	179	183	177	176	178	176	176
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.8	1.8	1.2
有意差検定		-	-	-	-	*	-	-

教師や学識者による授業、講義・講演が役立ったという人とそう思っていない人との間で、「差別容認否定意識」において有意差がみられますが、役に立ったという人のほうが意識は低いことから、効果があったとは言えません。

表3-4-2 差別を受けている当事者や、それを支援する団体等の職員の授業や講演

2 差別を受けた 当事者の話		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	2.9	3.3	12.3	3.0
	度数	290	295	285	286	285	289	288
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.1
役だった	平均値	3.4	2.7	4.2	3.6	3.8	12.6	3.5
	度数	51	52	49	49	50	53	53
	標準偏差	0.5	0.9	0.6	1.0	0.8	1.3	1.1
有意差検定		**	*	**	***	***	-	**

差別を受けている当事者などによる授業、講義・講演が役に立ったという人とそう思っていない人との間で、「排除問題意識」、「体罰問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「反忌避意識」において効果が見られます。

表3-4-3 映画・ビデオなど映像媒体を用いるもの

3映画・ビデオ など映像媒体使用		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.3	12.4	3.0
	度数	235	239	232	232	233	234	232
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
役だった	平均値	3.2	2.6	3.9	3.0	3.4	12.3	3.1
	度数	106	108	102	103	102	108	109
	標準偏差	0.5	0.9	0.7	1.1	0.8	1.8	1.1
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

映画やビデオなど映像媒体を用いたものが役に立ったという人とそう思っていない人との間で、いずれの人権意識についても有意差はみられません。

表3-4-4 グループ討論や模擬体験等を通じた参加・体験型の学習

4グループ討論や 模擬体験など		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.3	12.3	3.1
	度数	327	333	320	322	321	328	327
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.2
役だった	平均値	3.5	2.7	4.1	3.4	3.9	12.9	3.4
	度数	14	14	14	13	14	14	14
	標準偏差	0.5	0.8	0.6	1.0	0.7	1.2	1.0
有意差検定		*	-	-	-	*	-	-

グループ討論や模擬体験などを通じた参加・体験型の学習が役に立ったという人とそう思っていない人との間で、「排除問題意識」、「差別容認否定意識」において有意差がみられます。

表3-4-5 リバティおおかさやピースおおさかなど、人権問題に関する施設の見学

5人権問題 施設の見学		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.4	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	320	326	313	315	314	321	320
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
役だった	平均値	3.1	2.7	4.1	3.0	3.5	12.1	3.2
	度数	21	21	21	20	21	21	21
	標準偏差	0.5	0.9	0.7	1.0	0.6	2.0	1.3
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

リバティおおさかやピースおおさかなど、人権問題に関する施設の見学が役に立ったという人とそう思っていない人との間でいずれの人権意識についても有意差はみられません。

表3-4-6 人権問題に関する歴史をたどるフィールドワーク等の学習

6人権問題の フィールドワーク		排除問題 意識	体罰問題 意識	人権推進 支持意識	被差別責任 否定意識	差別容認 否定意識	結婚排除 否定意識	反忌避 意識
あてはまらない	平均値	3.1	2.5	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	324	330	318	320	319	325	324
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.7	1.2
役だった	平均値	3.2	2.3	3.9	3.3	3.5	12.2	3.1
	度数	17	17	16	15	16	17	17
	標準偏差	0.5	0.8	0.9	1.0	1.1	1.4	1.1
有意差検定		-	-	-	-	-	-	-

人権問題に関するフィールドワークなどの学習が役に立ったという人とそう思っていない人との間で、いずれの人権意識についての有意差はみられません。

表3-4-7 覚えていない、わからない

7覚えていない		排除問題意識	体罰問題意識	人権推進支持意識	被差別責任否定意識	差別容認否定意識	結婚排除否定意識	反忌避意識
あてはまらない	平均値	3.2	2.5	3.9	3.0	3.4	12.4	3.1
	度数	320	326	313	314	314	320	321
	標準偏差	0.6	0.9	0.8	1.0	0.9	1.6	1.2
あてはまる	平均値	2.7	2.3	4.1	2.6	3.0	12.1	2.5
	度数	21	21	21	21	21	22	20
	標準偏差	0.5	0.9	0.8	0.8	0.8	1.8	1.1
有意差検定		*	-	-	-	-	-	*

特に役に立った（一番印象に残っている）学習の形式を覚えていない、わからない人の場合、覚えている人と比べて「排除問題意識」、「反忌避意識」が有意に低くなっています。

### 【知見】

- さまざまな学習形式のなかで、差別を受けている当事者やそれを支援する団体等の職員の授業や講演が、「排除問題意識」、「体罰問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「差別容認否定意識」、「反忌避意識」を高めるうえで効果がみられる。
- グループ討論や模擬体験などを通じた参加・体験型の学習は、「排除問題意識」、「差別容認否定意識」を高めるうえで効果がみられる。

さまざまな学習形式のなかで、差別を受けている当事者やそれを支援する団体等の職員の授業や講演とグループ討論や模擬体験などを通じた参加・体験型の学習以外の従来型の学習形式が、特に役に立つとはみなせないという結果になったのはなぜなのかということについて、ここでは結論を保留にしておきます。

というのは、人権問題を高めるうえで役に立った（一番印象に残っている）人権学習を1つ問うた後に、その分野と形式を問うという設問の仕方自体に問題があったことは否めません。すなわち、「学習分野別」あるいは、「学習形式別」に「経験の有無」を問うたうえで、経験した人に限定して、その「学習分野」あるいは「学習形式」が「役に立った」か否かを問うべきであったということです。留意点として明記しておきます。